

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2004-199691 (P2004-199691A)
 【公開日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-027
 【出願番号】特願 2003-419028 (P2003-419028)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)
A 6 1 B 5/00 (2006.01)
A 6 1 B 6/00 (2006.01)
G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F
 A 6 1 B 5/00 G
 A 6 1 B 6/00 3 6 0 Z
 G 0 6 F 17/60 1 2 6 G
 G 0 6 F 17/60 1 2 6 Q

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 12 月 13 日 (2006.12.13)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 以上の読み取り者のそれぞれにより与えられる画像データ集合 (52) の 2 以上の読み取り内容を統合する工程であって、前記 2 以上の読み取り内容の間に 1 以上の不一致又は一致が存在している、統合する工程と、
 前記 1 以上の不一致又は一致を含んでいる統合されたデータ集合 (82) を形成する工程とを備えた画像データ集合の 2 以上の読み取り内容を照合する方法。

【請求項 2】

前記 1 以上の不一致の解決のために照合者に対して前記統合されたデータ集合 (88) を提供する工程 (90) をさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 2 以上の読み取り者のそれぞれは、1 以上の自動式アルゴリズムを含んでいる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記不一致は、検出不一致及び分類不一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記一致は、検出一致及び分類一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

イメージャ (12) と、
 該イメージャ (12) を動作させるように構成されているシステム制御サーキットリ (16) と、

前記イメージャ(12)により取得される画像データ集合(52)を入手するように構成されているデータ取得サーキットリ(18)と、

前記システム制御サーキットリ(16)及び下記データ処理サーキットリ(20)の少なくとも一方と相互作用するように構成されており、操作者が、統合されたデータ集合(82)内に表示されている1以上の不一致又は一致を観察して、前記1以上の不一致を解決することを可能にするようにさらに構成されている操作者インタフェイス(22)と、

2以上の読み取り者のそれぞれにより与えられる前記画像データ集合(52)の2以上の読み取り内容を統合して、該2以上の読み取り内容の間に前記1以上の不一致又は一致を含んでいる前記統合されたデータ集合(82)を形成するように構成されているデータ処理サーキットリ(20)とを備えた画像解析システム(10)。

【請求項7】

前記2以上の読み取り者のそれぞれは、1以上の自動式アルゴリズムを含んでいる、請求項6に記載の画像解析システム(10)。

【請求項8】

前記不一致は、検出不一致及び分類不一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項6に記載の画像解析システム(10)。

【請求項9】

前記一致は、検出一致及び分類一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項6に記載の画像解析システム(10)。

【請求項10】

前記データ処理サーキットリ(20)は、前記1以上の読み取り内容が一致している1以上の特徴をマスクするようにさらに構成されている、請求項6に記載の画像解析システム(10)。